

5・13～15沖縄闘争へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2017年5月3日

No.461

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

戦争と民営化の安倍・小池打倒! 5・1新宿メーデー打ち抜く!



非正規職撤廃! 全基地撤去! 辺野古新基地建設絶対阻止!

5月沖縄現地闘争

〈日時〉5月13日(土)～15日(月)

- ☐ 13日 「ひめゆり記念館」 見学、国際通りデモ、
「復帰」45年沖縄集会
- ☐ 14日 沖縄県民大会、基地見学(予定)、全国学生集会
- ☐ 15日 沖縄大学で学生集会



5・1 新宿メーデーでの斎藤全学連委員長アピール！

私たち全学連はあらためて今、急速に切迫している朝鮮半島における核戦争の危機、これを止めるためにともに立ち上がろうと訴えます。戦争絶対反対の大学反戦ゼネストに向かって進む決意です。

大学の軍事研究が相当な規模で進み始めています。今年の軍事研究の予算は去年の6億円から110億円に増大しました。日本学術会議の新声明で出された内容は、「軍事研究には関わらない」という声明は引き継ぐが、各大学でガイドラインを作って具体的個別的に対処する」というものです。「戦争反対」だけれども、最後は「現場判断」ということです。

大学の現場はどうなっているか。京都大学ではこのかん米軍から5年間にわたって約2千万円の研究費をもらっていたことが明らかになりました。「軍事研究反対」の声明を出している大学である京都大学でなぜこんなことが起こっているのか。部局に問い合わせてみたら、「米軍からお金をもらったことは間違いない」「寄付金として処理した」と言っています。軍事研究は実際このように始まっているのです。

法政大学も「軍事研究禁止」の声明を今年2月末に出しました。しかし、法政大学は日常的に公安警察と協力し合って学生を弾圧している大学です。公安警察とイチャイチャしながら、軍事研究には反対する。これで戦争が止められるはずがないわけです。

今年4月、各地で軍事研究に反対するシンポジウムが行われ、法政大学でもそういうことをやっている運動が職員を中心にがあるらしいですが、「軍事研究に反対している職員有志の会」が明治大学のシンポジウムで、「法政大学は受験者数が1位になった。その要因のひとつに、軍事研究に反対したことがあげられる。これがブランディングなんだ」と発言したそうです。まさしく、戦争反対というみんなの良心をブランドにして、自分たちの足場にしていく。これが法政大学の姿であり、いわゆる「体制内」と呼ばれるリベラルや左派たちの姿だと思います。僕らはこういう欺瞞を絶対に許さないし、現場からの学生の団結で絶対にひっくり返したい。

共謀罪も同じです。戦争が迫る中で共謀罪が出てきています。人間が団結して立ち上がることを罰する。今の大学の中でやられていることです。今年4月28日に法政大学でデモを行いました。これに対して、法政大学は「組



5・1 新宿メーデーデモ

織的業務妨害団体がデモを企画しているので学生は近寄るな」「正門を封鎖する」というメールを全学生に送りました。法政大学には「共謀罪反対」と言っている教授はたくさんいますが、自分の大学では「業務妨害団体がデモをやるから正門を封鎖していいんだ」と言っている。これがいま大学で行われていることです。共謀罪の中身というのは、具体的には僕らがやられてきたことです。しかし、僕たちはその攻撃をすべて打ち破ってきた。このことが重要だと思います。

共謀罪を立証するためには、盗聴や監視といった警察権力の強化が必要ですが、核心は当該が白状しないと「共謀」にはならない。ガサや逮捕などの弾圧に対し、僕たちが完全黙秘・非転向で闘って弾圧を打ち破ってきたこと自体が、共謀罪をひっくり返す最大の攻防だということです。僕らが闘ってきたことがこれから先の勝利への道だと思います。

4月28日、法政大学は正門を封鎖できませんでした。なぜなら、多くの法大生が集まって注目していたからです。公安警察の目の前で、「今日がんばってくださいよ～」と声をかけてくる学生もいました。そういう状況の中で正門を封鎖するというのを法大当局は結局できなかった。学生の力（＝団結）を示しました。

法政大学は今年、警備員（警備会社）が変わりました。10年間にわたって弾圧警備員を教育してきたのに、法大当局は全員切ったわけです。結局彼らは金もうけのことしか考えていないから、人間を団結させることなどできない。僕らが団結を訴えて今の現実に向かい合えば、必ず学生は応えてくれる。京都大学と法政大学を先頭に、大学の中から学生が立ち上がる力強い運動を甦らせ、朝鮮戦争を阻止していく決意です。ともにがんばりましょう！